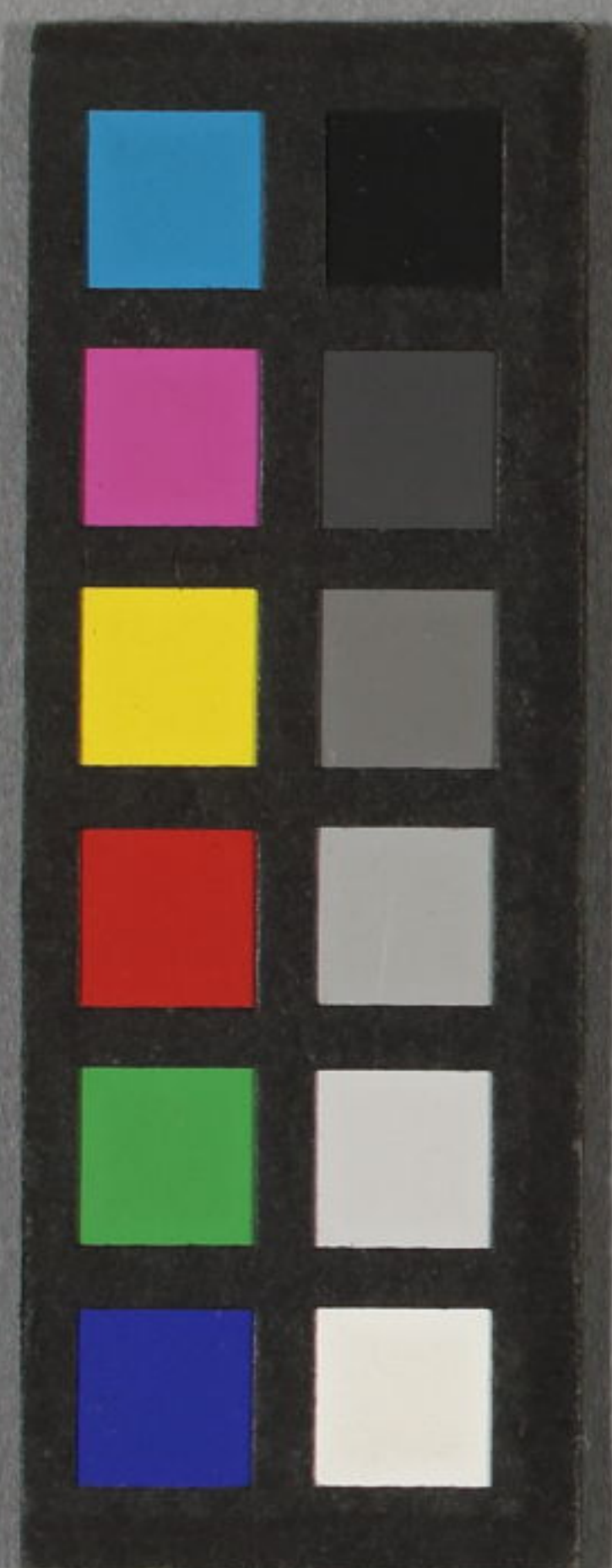




新版

文政

諸國名山往來

頭書名跡誌

道法独案内

元 齋 板

ル 3
4001



143
4001

諸國名

山往來



鈴木
藏書

駿河富士山

當山北面ハ山の脚

也く南西ハ嶮岨之

甲列うまを言田

口といハ駿河を

を大宮といハ相及

ようまを駿河口

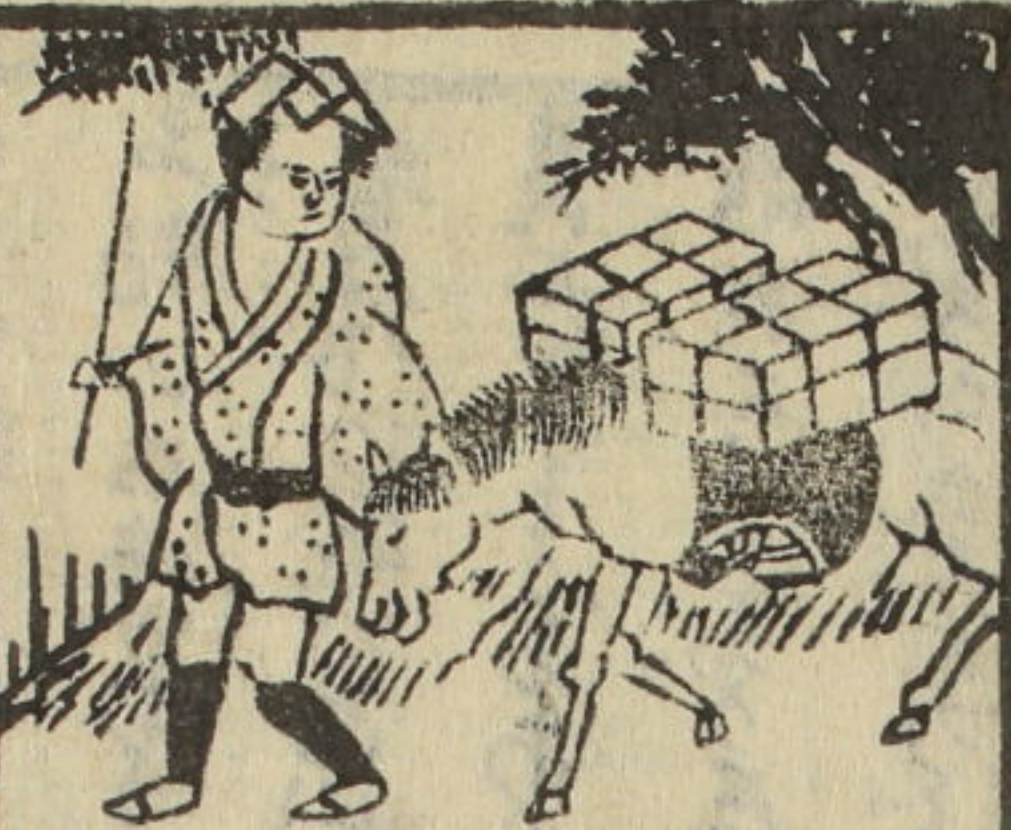
といハ朝鮮百餘

よう天晴う付ハ

富士山近く見ゆる

といハ豫小玉を

双のち山あり



下野国日光山

賀年未年の瀬

ハ其向の嶮岨ハ

ち瀬の上を渡ひ

あり弘法大師瀬を

隔てて岩小丸を

の境字をかく等

嶺國名山往來

傳傳唐土老崑崙山

嶺眉補陀洛山と高

山省中於我朝美海

内名峯と高山先駿

州之富士山と跨駿甲

豆相之園と嶺と如

八禁蓮花其嶮者如

立摺扇摺中倒之昔

平城寺主人同元年祭

岩小砂まう
裏えの瀬い山の坤
一里すむろ小あり
岩の肉小三條川
姓の石像あり家を
新湯敷山といふ方
をせと姓のうらをえ
ふ動の石像あり
きうふり
岩の瀬い山とい
良きまきうらあり
岩の三條とあり
まきうら岩のうら

いまさくやひのうらをまきうら
本苑因耶非令號
せんかんといふかんとうまふまふかんとう
吉沢大権現凡自園
まきうらよりこれをまきうらなるかんとう
東州望之山形不異
えまんてんてんてんてんてんてんてんてん
是國又なる山形不異
いづのうらなるかんとう
伊豆高嶺を相對る溪

奥州金華山

山鳥の渡よりあり
つと鐘ありあれを
つと鐘ありあれを
たう系船の老を系
たう系船の老を系
舟とよまふあり
系船のの儀を
上りのあれが系船
舟とよまふあり
舟とよまふあり

雲相別舊根山を温
せんてんてんてんてんてんてんてん
泉之煙ふ絶る陸筑波
さんてんてんてんてんてんてんてん
山依筑波嶺詠奇甚
まきうらなるかんとう
名きう野日光山を從
かんてんてんてんてんてんてんてん
満山仕業なる海門



出羽國羽黒山

高山松葉より三々

せりて作敷あり又

かきせりて中堂有

土面乾き相ま移現

の中地是より二十丁

なりせりて荒涼な

いづか堂の赤い漆

あり垢離場とせし

より焼字川を過

せり餘地をよめる

かき平地あり松の池

普陀洛山湯うたを

るそ月山より三里

折居山より三里

をえり月山より三

小松より八里より又

下りて篠山半分首

清長にひいてるま

伴時天事比御美奈花

咲金華山陸奥之海

島名親清年役天大喜

年間領事海赤三郎島

海中出羽之高山を祭

神宗任靈同出羽山

老翁稲穂神推定天皇

元年と出羽也續初月山

湯殿山等名山松秀雲

外坂路遠羊腸嶮難

派難場ありはあり
津衣より杖より鞋
を新衣とて湯衣と

いづれ権現地獄のうし
ろふ義神堂ありふ
動の地獄をうそ

又ふとの澤土口あり
是より下りて石刻
下り砂子の園に本

道寺あり三山の行
者南口の宿坊あり
つゝの大寺あり

越中国立山

當山麓岩崎寺

より二横江より
頼血楓より芦崎寺

湯川より比叡の川
夏の橋をいふと橋に

場あり是より更萩
下りて千の観音堂

秋木坂より慈徳堂
現勢のいふやそれ

より幽羅坂より伏拝
下りて勝妙の嶽と

殊き謂斗後天賦後妙
つゝざんハありくらとともふふいびくつけの

五山興赤倉修任上聖
ありきざんハもろまさんとひとくたじあり

赤峰山伊藤名山の賦
ちうとそやぬハさいトんいざのきのこと

中より山々祭神伊集院
とちうとをざんかんありこのふやとや

子力雄権現自禁素衣
ありてうといふふあそとうさんやのう

至絶頂凡十二里餘
がんやてぢぐぐのなるあんなハあらわれ

山而地獄谷名露岩火
つゝのあらあぬハまづるとう

加賀白山所祭伊集院
とことやうりざんかんハありのうのふあ

そは理権現在加賀之坡
いづれあつちふまといふのうのふあ

跨北澤部中大山岩寒天

いあり敷十丈の大
 池ありこれより東
 谷より東陽権現の
 あり不動堂下
 中津あり此を越
 陀あり此を越
 が嶽と云高山あり
 此の麓あり温泉あり
 とれより金見坂より
 此あり此あり此あり
 姥が懐るなり市
 谷あり此は長狭の



老鬼あり此は角
 を半化してあり
 此の石を壁と云其
 石を壁と云市
 谷あり此は金見
 あり此あり此あり
 此の石は石の形

の雪不_レ夏解_レ刻_レ戸_レ現
 山_二残_一惟_二新_一妖_二穢_一風
 説_二同_一玉_二沙_一同_二嶽_一と_二雷_一也
 時不_レ絶_二煙_一古_二歌_一甲_二斐_一又_二白_一
 嶺_二及_一丹_二延_一山_二目_一蓮_二上_一人

因_二基_一而_二法_一堂_二惠_一盡_二死_一
 番_二遠_一江_二國_一秋_二葉_一山_二雲_一と
 尺_二坊_一大_二天_一物_二之_一靈_二驗_一著
 明_二近_一江_二玉_一腰_二吹_一山_二老_一八_二岐_一
 大_二蛇_一邪_二敵_一貴_二男_一同_二刻_一

変り馬とあり云
それより奥庭を
山之上市を移る
小坂大坂を人
まう也とあり
より神宮の鼻を深
明史弘法護之檀の
流ありとある室堂
はあふせうとあり
まて二十九年室
岩と云山あり右根
尾の社天降嶽あり

比叡地獄をひか
あり東洋人室を
一和室をさう絶頂
おさげ坂下の川
色の濱もとある
より東洋人をさ
はれおまふあり
ひまのちとある
その番地をさ
それ別山帝釈天
おさる別山寺
東より別山寺

比叡山植武天皇初
頼延暦七年と草創也
湖水之京在二望中
風粧被雲と京也山城
鞍馬愛宕山と云
三高山而丹波大江山伯
考大山是也千仞極雲
涯之高嶺之國防之國山
嶮岨之各遠近筑紫
肥後河嶺嶽絶頂之光

いまいざんらんむらんのち
かかんあんやうらんのさうく
とまのさうらんざうのさうあうて
うさういよのさうざんあり
くらまあてござんらんくらく
いづのくらざんあてらんあやあま
さのさうざんとれらさうらんがい
考大山是也千仞極雲
涯之高嶺之國防之國山
嶮岨之各遠近筑紫
いこのあそがけさうのさう

大走小走のり
 吾の宿八小庵
 胎内より揚枝嶽
 みくろ池 磐龍山
 地獄谷 無地嶽
 加賀国 白山
 越前の勝山より
 谷村の杖峠あり
 せり下りより牛首
 一り宿舎あり 天狗
 庵より堂あり 寺
 不動寺 金成にあり



あつたすの湯 半
 一の瀬より半の湯
 泉ありそれの松林
 宿はわが嶺の松
 あつた利の湯あり
 白山にわがの湯
 三重の湯 畜生谷

煙不常滅 青黄赤白
 色 鼓を謂 国 方言 常 見
 豊 系 系 山中 嶽 主 如 天
 柱 吾 光 系 院 以 人 力 精
 巧 似 判 成 之 又 田 園 若

伊 豫 之 小 宿 士 里 前 村
 寺 石 槌 山 主 從 村 桑 界
 有 十二 里 是 田 園 偏 路 之
 札 所 而 田 園 更 之 也
 續 而 續 之 亦 以 山 主 金

もあご坂をぬきし
陀系手別山伏待結
大御前ありあき下り
別山下り一のせれよ
うのあきあきの人
一のせれより衆肉を
ひきりてゆぐ

甲斐国身延山
身延の町を赤沢
十町七面坂口下り
二の鳥居ありて
三の鳥居ありて

みさきの池邊赤
沢やぶをぬき山
部おまえをりて
十町七面坂口下り
身延山ありて
肥後国阿蘇嶽
冬後大和可集倉
う坂ありて坊住
り本堂上の文の中
ま下の文をれり
まより 白川村

以羅推現之結外其
靈應多又所崇敬
密也故群衆不絶堂
社名好秀美難迹
之信行捕刈書寫山

持津武彦山純中紀
國高野山も峯も溪
幽而浮雲回反も復怪
叢奇石之靈像多求
関待之忠老の醒人



豊前国彦山

彦山の町をさまめ
て網のも居あつれ
より丁くのりも
古丁自大鎌堂主社
此丁自聖徳堂主
橋北三丁目

一の沢を録する
よりあつ幸丁目
大目繁集四丁目
行者の堂五丁目
園あり此所実妙
是二合ありて
五丁目二の沢幸
丁目中の嶽女体
現の社併作現ハ
とすよりあつ幸
持現のありあつ
より彦山の町

我佛法僧之詳を今守

悟道之靈場也其基

老刹弘法大師詠天

皇弘仁七年之建也

自後大和溫泉嶽之兵

崎雲中而已同國者

野山一名金峯山是

日本七高山之内而深遠

不知里程東西不遇

三里之大山也満山文

大和国大峯山

本尊不動明王

杵迦羅 迦羅迦

馬頭觀音 比叡

菩薩 觀喜天

常念觀音堂

雲上閣 弥勒弁天

役行者堂 十三級

石塔婆 石塔

河内国金剛山

高山 河内大和

金剛山 河内大和



和歌山葛上郡

属 蓮花堂寺

本堂の乾の方十

八町ありき

五種現千草の城

山は半の坤の方

是より下を坂城

江ノ比良の根を獲大山上

総加理布山 延武列秩

父嶽 中嶽 出嶽 陰 雲 穂

矢列 盤大山 等 不 連

牧 奉 之 有 増 之 方 粗 所

地 平 也 越 初 深 山 幽 宜 之

處 則 有 陰 鬼 俗 云 玉 稻

山 神 類 是 也 有 之 硫 炭

之 山 則 火 燃 燃 起 湧 出 温

泉 其 甚 其 甚 也 汝 汝 呼

山一丁町捕正成
の坂を據てあり
上坂の事世に盛
ありし坂あり

山城国愛宕山

高山開基の恒寂

法師の阿弥陀

法泉院虚空藏

大天堂大威徳天

釋迦如来高山

火災を除くを

守るをといふ

伊呂波片假名

イロハニ

ホヘトナ

リヌルタ

ワカヨタ

レフツ子

ナラムウ

井ノオク

ヤマケフ

コエテ

アサキユミ

エヒモセス

ありふりしころのうへよりありしころを
或る有似同平音以稱

之地獄往昔の山角泰陀

行基老好の山徑繁叢

林上使鬼乃神社佛園

靈跡呼と謂勅告徳也

之志者也仍名山往來

書如件

十返舎一九撰

修理 萬寶柱建往來 東里山人著 大本一冊
大成 諸職人必用書

文政七甲申年正月發販

書物問屋 江戸馬喰町三丁目 森屋治兵衛板

分

橫澤

志智之系持